

大阪府ろうあ者成人学校

公益社団法人 大阪聴力障害者協会

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 1-3-59 大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター 3 階

助成事業の概要

聴力障害者は音声による情報を得ることができないため、現在の話題や話している内容がわからないことが多々あります。一般市民向けに開かれている講座では、手話など目で情報を得られる講座はないに等しいです。そのため、一般市民向けの講座と同じように法律問題や健康、時事問題など身近なテーマを取り上げ、専門家に依頼し、わかりやすく説明してもらい学習する場を設けています。

専門家による講演では大阪府登録手話通訳者による情報保障を行い、会場は公共施設を借用しました。

実施時期

2024 年 9 月から 2025 年 1 月の間に大阪府内の各 4 ブロックでそれぞれ 2 回、合同で 4 回成人学校を開催しました。

また 11 月には全体としての社会見学を開催しました。

内容

■北摂

9 月 7 日(土)

14:00～16:00 吹田市立内本町コミュニティセンター

「人生100 歳時代の生き方～認知症を予防していきいき～」

NPO 法人認知症予防サポートネット 代表 福田 章氏

12 月 14 日(土)

14:00～16:00 豊中市立障害福祉センターひ

まわり

「SNS って何？～色々な情報収集の方法を知ろう～」

(公社)大阪聴力障害者協会 青年部 部長 棕本 潤一

■京阪

9 月 7 日(土)

14:00～16:00 ラポールひらかた

「ほくほくの現状と課題」

(公社)大阪聴力障害者協会 常任理事 丘村 彰敏

12 月 14 日(土)

14:00～16:00 大東市立生涯学習センターアクロス

「人生100 歳時代の生き方～認知症を予防していきいき～」

NPO 法人認知症予防サポートネット 代表 福田 章氏

■河内

11 月 9 日(土)

14:00～16:00 八尾市文化会館プリズムホール

「終活～大切な人が困らないために～」

一般社団法人ななつほし 代表理事 星沢 敏美氏

12 月 7 日(土)

14:00～16:00 藤井寺市立市民総合会館

「知られざる偉人たちの逸話」

(公社)大阪聴力障害者協会 理事 竹本 圭吾

■泉州

12月14日(土)

14:00～16:00 テクスピア大阪(泉大津市)
「国際手話を学ぼう！」

(公社)大阪聴力障害者協会 青年部 副部長
仁木 千奈津

1月11日(土)

10:00～12:00 opsol 福祉総合センター
「医療界の現在の事情」

(公社)大阪聴力障害者協会 理事 高木 優

■合同

9月28日(土)

14:00～16:00 阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)
「災害から命を守る防災対策」

(公社)大阪聴力障害者協会 常任理事 笹川
和廣

10月26日(土)

14:00～16:00 阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)
「間違いだらけの防災常識」

(公社)大阪聴力障害者協会 常任理事 笹川
和廣

11月30日(土)

14:00～16:00 阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)
「防災クイズ&防災ゲーム」

(公社)大阪聴力障害者協会 常任理事 笹川
和廣

12月21日(土)

14:00～16:00 阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)
「防災医療」

(公社)大阪聴力障害者協会 理事 高木 優

■社会見学

11月3日(日)

10:30～12:30 カップヌードルミュージアム
「大阪発祥のインスタントラーメンの歴史を学ぼう」

■事業の成果

大阪府在住の聴力障害者へ「大阪ろうあ者成人学校」を広くよびかけるために、当会発行の会報「ろうあ大阪」に講座を掲載し、また公式ラインでもアップして周知を行いました。

聴力障害者の教養を深めるために、「終活」では行政書士を招いて、墓終いや相続、後見人制度等を講演していただきました。「防災」シリーズでは防災士の資格を取得した聞こえない講師に講演をしていただきました。時にはゲームを取り入れて楽しみながら命を守るためにどうしたらよいかを学ぶことができました。「終活」や「防災」は特に参加者が多く、関心の高いテーマであることがわかりました。

手話通訳をつけて講義を聞くことによって普段ではわからなくても聞けないことを、手話言語を通して講師と対話しながら教養を深められることも、この成人学校の特徴です。

また聴力障害者当事者(当会役員)には身近な社会問題(時事問題)を中心に講演していただきました。

当事者による手話言語でのお話はわかりやすく、普段ニュースや新聞ではわからない社会状況が理解できた。との感想をいただきました。

■成果の広報・公表

毎月1回、各ブロックの担当者が集まり会議を行い、講義当日集めたアンケートをもとに報告・感想・意見など情報交換を行ってきました。

また当会のブロック単位での会議・本部での会議にも報告し、次の講座の呼びかけも行いました。当会が発行している会報「ろうあ大阪」へ掲載の願いをし、一部のみ掲載していただきました。成人学校の状況の報告も掲載していただき、アピールに力を入れました。

■ 今後の展開

1970年から行われている「大阪ろうあ成人学校」は、聞こえる人のようにいつでもどこでも情報を得ることが難しい聴力障害者の教養の向上のためにも大切な行事の一つです。

かつては大阪府の委託を受け協会の行事の一つとして開催してきました。大阪府からの委託金が打ち切られた今でも、助成金を確保しながら大阪府に在住する聴力障害者を対象に成人学校を行ってきました。

引き続き音声による情報を得ることができない聴力障害者が、普段の生活上で必要な情報や知識を得ることができるようにしていくためにも、引き続き「大阪ろうあ者成人学校」を開催していく方向で2025年度も計画をすすめてまいります。

特に医療関係や教養関係を中心に専門家に依頼し、手話通訳をつけた講座は欠かせないものであり、身近な場所で開催していくためにブロック単位での講座を検討していきます。

また、2025年に東京でデフリンピックが開催され、世界中の聴力障害者が集まる機会に、国際手話を学ぶ場を設けることも計画しています。